

## 新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。  
市民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成23年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より市政運営に對しましてご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。  
この度私は、市民の皆様へ三度目の市政の舵取りをお任せいただき、身の引き締まる思いとともに、荒尾への思いを更に強くいたしました。

これまで2期8年間を振り返りますと、就任当初は行政改革を推進しました。安定した財政基盤は行政サービスの基礎であり、市民の皆様方のご理解のもと一定の成果を得ることができました。今後も市民サービスの向上のため弛みなく取り組んで参ります。

次にまちづくりの指針として「2030 ありあり明優都戦略」を設け、有明地域でNo.1になることを目標に推進しております。

その中で市民と行政による協働のまちづくり推進のため「地域元気づくり事業」が11地域で取り組まれることになり、現在も地域力向上に向け活発な活動が展開されております。

企業誘致・雇用対策につきましては、10社の企業誘致を実現させました。また、「青研」等の徒歩圏マーケット、起業支援や芋焼酎、ワイン等の商品開発支援により雇用を創出しました。

子どもの教育環境につきましては、学校規模適正化に取り組み小・中学校の再編を図り、併せて3歳児までの医療費を無料化しました。

生活基盤の確保としまして、永年の課題であった工業用水転用による水利権を取得し、大牟田市との共同浄水場の建設に着手

しました。

また、万田坑を含む「九州・山口の近代化産業遺産群」が世界遺産暫定リストに登録され、本登録に向けた取り組みも本格化しております。

ただ、病院事業、競馬事業など、課題も抱え本市を取り巻く状況は未だ厳しいものがあります。誰もが住みやすく、幸せを実感できる「有明優都あらお」を目指し、市民の皆様と一緒に取り組んで参ります。本年も皆様方のご支援ご協力をよろしくお願いたします。

荒尾市長

前畑 淳治

## 平成二十三年 迎春

新年明けましておめでとうございます。  
市民の皆様には、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私も議長のお務めにつきまして、早くも二回目の新年を迎えることになりましたが、就任以来、市政の進展と円滑なる議会運営に微力ながら全力を尽くしてまいりました。その間、皆様から賜りましたご理解とご協力に、厚くお礼申し上げます。

日本経済はアジアを中心とした外需や政府の緊急経済対策を始めとする政策の下支え効果等により、持ち直してきたものの、依然として厳しい状況にあります。特に新卒者、若年層の雇用状況は厳しく、今後とも引き続き厳しい雇用状況が続く見通しであり、早急に政府によるデフレ終結に向けた経済の基盤強化対策等が望まれます。

荒尾市におきましては、「九州・山口の近代化産業遺産群」の一つとしてユネスコ世界遺産暫定リストに掲載された「万田坑」が、

本登録に向け昨年3月までに保存修理が終了し、4月25日より一般公開を開始し多くの入場者が訪れております。

また、本年3月には九州新幹線全線開業が予定されており、辛亥革命100周年を契機とした記念事業などにより、孫文と宮崎滔天の関係をアピールして、関西方面からの修学旅行及び中国人観光客の受け入れの推進や、相乗効果として観光交流人口増加により都市のイメージアップを図り、定住者の増加につながるなどの本市の活性化策に、私たち市議会といたしまして全面的な支援を行い、その発展に多いに期待をいたしているところであります。

そのため、私たち市議会は今日の社会情勢を的確にとらえ、市議会の機能役割を十

分發揮するため、議会改革を推進してまいりましたが、その第一歩として議会だよりを昨年6月より発行することができました。

今後は、市民の皆様から直接選挙で選ばれた議員で構成された議会として、二元代表制の一翼を担い、皆様の信託を受けて市民の福祉向上のため、また執行機関に対する監視機能を担うため、議会基本条例制定の目標を掲げ、議員一同、なお一層の努力を傾注していく所存でありますので、皆様のご支援・御協力をお願いいたします。新年のごあいさつといたします。

荒尾市議会議長

島田 稔

